

御香宮ごかうのみやは城山しろやまの西なり、本社には神功皇后じんぐくわうごうを祭る。此地に御鎮坐のはじめは年歴詳ならず。文禄年中伏見ふしみの城をいとなみ給ふ時、此やしろを大亀谷おほかめだにの東にうつしけるに、神崇ましくければ、又此旧地に遷坐ありしなり。〔其地を古御香宮ごかうのみやといふ、当社の御旅所とす〕

九所堂くしやだう初は九坐の神を祭る、神輿も九基あり。御香水鳥井ごかうすゐの傍にあり、此水によりて名とす。賽石鳥居の内敷石の間にあり、詣人こゝより賽をする所なり。〔世人めくら石といふ〕

拜殿南はいでんみなみの門もん〔伏見の城中にありしをこゝにうつす、彫物等華美なり〕